

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	トレスポ南仙台		
○保護者評価実施期間	2027年2月10日		2027年2月20日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	22	(回答者数) 20
○従業者評価実施期間	2027年2月10日		2027年2月20日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	16	(回答者数) 16
○事業者向け自己評価表作成日	2027年3月16日		

## ○分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	特性に合わせて療育を実施し、自己肯定感が高まり「できた」を感じることができるよう、ひとりひとりに合わせた課題の設定や集団活動の設定を行っている。	集団活動の内容は同じでも、個々のレベルに合わせて難易度を変え、少し頑張ったら達成できるものに設定している。簡単すぎたり難しすぎたりしないよう、意欲的に取り組める環境設定を行っている。 またお子さんによってはあえて失敗する設定を行い、どうしたら良いのかを考える機会を設け、自己解決力を高められるよう取り組んでいる。	ひとりひとりの情報を得るために出生歴や、放デイに入ることが決まった場合は保育園での様子を見に行く等より深くアセスメントを行っていく。 日々の支援の振り返りや情報共有をより強化し、統一した支援が行えるよう職員の質の向上に取り組んでいく。
2	子どもが興味関心を広げ、様々な体験を行えるよう環境設定に力を入れている。 子どもの「やりたい」「やってみたい」という思いを汲み取り実現できるよう行動に移している。	興味関心の幅が広がり、主体的に行動に移せるよう様々な体験の場（初めて行うものや体験、地域イベントの参加等）を設定している。 基本的に何事においても「本物」に触れるようにしている。	環境の大切さを職員間で共通認識として持ち、子どもの育ちや発達支援においてどのようなものが良いか常に考え、変化を続けていく。
3	事業所での日々の出来事や行事など、連絡帳アプリやインスタで活動の様子をお伝えしたり、公式LINEを使って感染症や地震、警報が出た時に発信を行い、情報共有を行っている。	アプリで毎回写真付きでお子さんの様子が分かるよう、活動や課題を行っている様子を伝えている。 年に数回、保護者交流会やカフェを実施し、動画や写真で様子をお伝えしたり、保護者の不安や悩み事を話せる場を設けている。 インスタで子どもたちの様子を配信している。	どのような取り組みが行われているのか、今後も分かりやすくお伝えしていく。 また、インスタの更新を定期的に行い、子どもの様子や職員の思いなどを発信し共有を行うことで安心に繋げていく。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	就学前に利用していた保育園や幼稚園との間で情報共有と相互理解について、保護者を通して確認することが多い。	保育園で使っていた支援計画や支援の方法など用紙がある場合には確認させて頂き支援に反映することが出来ているが、ない場合は保護者からの聞き取りが主となっている。	特に自傷・他害があるなど手厚い支援が必要な子どもについては保育園や幼稚園の先生から直接様子を伺ったり担当者会議を行って情報共有していく。
2	外遊びや体育館等で身体を動かすことが少ない。	平日は人員体制や送迎、お迎え時間の兼ね合いから外遊びする機会がなかなか持てていない。	下校の早い日などは積極的に外に行けるよう対応していく。 また、平日も簡単な散歩なども取り入れてリフレッシュできるよう支援していく。 特別イベントでもリズム運動や公園遊びに行く等、身体を動かす機会を多く持てるよう企画運営していく。
3	支援後の振り返りについて、当日中は難しく翌日になっていて共有漏れが起こることがある。	送迎後すぐの退勤となるため翌日午前中のミーティングで情報共有を行っているが、非常勤職員が参加できない。その際、非常勤が把握している情報が共有できないことがある。	特記事項は当日中に児発管からクラスリーダーに伝え、翌日ミーティングで全体共有していけるようにしていく。必要に応じて共有用紙を用いて対策していく。 今後もミーティングの議事録の確認は、全員必ず行ってから支援に入るようにしていく。